



保 多 留

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 感動論 人を惹きつけて離さない8つの法則

境野 顯廣 著 Amazon Services International, Inc.

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2020年10月1日 Vol. 216

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

ライフコンサルタント 渡邊 敏徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

区切り

「区切り」とは、物事の切れ目、段落、きりと説明されます。今年はいろんなことが私の生活の中で「区切り」となりました。会社を法人化して丸20年目、父の23回忌、結婚して25年の銀婚式、子どもの最後の学費支払いなどなど…。

“年末”や“年度末”など私たちにはいろんな場面で「区切り」を経験します。不思議なものでそういう節目には、新たな気持ちの変化が起こります。また、時間の感じ方は人それぞれですが、その過ごし方によって時間の速さの感覚が変わります。嫌な仕事であれば一分がとても長く感じられ、大切な人との時間は一日が一分のように感じます。人は、常に同じ時間を過ごすことはなく、今この一瞬一瞬を連続して生きています。

仕事の事で言えば「あなたの今の仕事ぶりに何点をつけますか？」の問いにどう答えますか。自信をもって100点と言えますか。それとも80点、それともそれ以下ですか…。仕事でもプライベートでも一区切りついた時に「とても充実していて楽しかった」と胸を張って言えるような生き方ができたら最高ですね。



そして、大きな区切りや節目に、「さあ、これからどうする」、「自分に与えられた時間はあとどれくらいあるのだろう」と考える機会にもしていきたいと思えます。人生は三万日と言われますが、私たちの人生をより充実した価値あるものにするために、これからの時間を大切に過ごしていきたいと思えます。



【座右の銘にしたい名言】



一度でもあきらめてしまうと、それが癖になる。絶対にあきらめるな！
(マイケルジョーダン/米国のバスケットボール選手)

運命

毎日めまぐるしく世の中が動いています。誰も予想することができなかった新型コロナウイルスによる感染被害と経済的ダメージ。人はいくつになっても何の悩みもなくバラ色の人生を過ごすことができる人は稀だと思います。人生では、少なくとも三回は大きな不運に見舞われるという話を聞いたことがあります。今回の新型コロナウイルスはその一つかもしれません。

事業に成功して一生使い切れないお金を稼いだ人も楽しい人生ばかりではありません。そして大きな会社に勤めていれば安心という時代もなくなりました。すべてにおいて「これがあれば絶対に大丈夫」という処方箋もなく、あらゆる世代の人が人生に迷っています。人生にはこれが正解というものはありません。一人ひとりが自分の価値観に沿って自由に生き方を決めて生きていくことができますが、私たちは知らないうちに自分の周りにはいる人達の考え方や生き方に影響されています。

最近よく耳にする話ですが、自分の人生を振り返る時間を持つことが大切だと。今までの自分自身を思い出し、「人生の棚卸し」をしてみることで自分を見直すことができるというのです。

これまでの私は“運”が良かったのだろうか？これまでやりたいことは何でも思い通りにできたのだろうか？“運命”は自分の自由な意思で変えることができるのだろうか？周りを見渡してみて、自分よりも才能のある人、容姿のいい人、学歴のある人、お金持ちの家に生まれた人など世の中は不平等で満ち溢れています。そしてそれが現実です。

しかし、逆に“幸せ”という点で考えてみると、私たちすべての人に同じチャンスがあると思うのです。幸せを掴むことができるのは、どんな人でも同じです。人生は不平等だと思えますが、公平であることも事実です。

一般的に「運命」と同義語として「宿命」という言葉がありますが、「運命」は努力次第で変えることができるが、「宿命」は生きているものが必ず死ぬように変えることのできない絶対的なものとされています。

「運命」を受け入れながら私たちの努力で少しでもいい方向に変えていきたいものです。

